

## 葉山たんぼぼ教室の見学報告

2010年5月12日

### 葉山たんぼぼ教室の概要～

1981年に生活訓練会（成人・児童）として三浦市・逗子市と合同でスタートした。施設の場所は何度か移転を繰り返し、現在の葉山町役場、葉山小学校近隣に落ち着いたのが2006年の10月である。

子どもの年齢順に教室が分かれており、1歳6カ月健診を「つくしんぼ」、3歳児健診・2歳児健診を「たんぼぼ」、幼稚園・保育園や児童館からの依頼で設けられている就学後の「ひまわり」がある。さらに、保護者への支援体制として保護者教室も設置されている。

原則としてグループでの療育は母子分離で行われ、個別療育は母子ともに通園の方法をとっている。

基本型の1日の生活の流れ、そして、たんぼぼグループで療育を受ける児童の傾向、出席率などは資料の通りである。

見学中に、母子分離での訓練と母子ともに訓練を受けているところに（許可を得て）同席させてもらった。

### 今後の課題について～

各地域の幼稚園・保育園・小学校に通うようになると、療育教室への出席率が悪くなるので、その各園や小学校との連携が大切である。また、保護者が、子どもの成長の段階を理解し、スムーズに関わるためには、療育で習ったことが家庭の応用できるものがほしい。そして、子どもの出生から就労までを視野にいれ、一貫した支援ができるように園として、町として取り組んでいくことが必要としている。

### 見学を終えて～

鎌倉市のあおぞら園の他では、療育教室の見学は初めてであったが、児童そして保護者にとっての療育教室との関わりを勉強したかった。葉山町役場の担当課の方達の説明で課題とすることが理解できた。さらに、今後他の施設を訪ねようと思う。鎌倉にもより活かせることを考えたい。